

浄青神奈川

大本山光明寺御法主戸松啓真台下御染筆

神奈川浄青機関紙

第 23 号

発行日 1996年 6月 1日

発行人 塩澤 智彦

初心に戻り活動の充実を



第11代会長
塩澤 智彦

神奈川教区浄土宗青年会も発足以来、早や二十年を過ぎました。この度、國松会長の後任として、第十一代神

いりました。研修活動(自行)・大衆活動(化他)・親睦活動(和合)を会の活動理念として、歴代会長がご尽力をなさつてこられました後任を拝受するにあたり、今更にその責任の重大さを痛感しておりますが、いかなる活動も常に自らの脚下を見つめて初心を忘れず、原点に立ち還つて物事を考え、その礎としなければ地についたものにはならないと思ひます。二十周年を過ぎたこの時期、特に初心に戻り活動を充実していきたいと念願しております。

従来は活動に加えて、今年度は新しく水泳大会と写真会+ソフトバレーボール大会を企画しております。また、



合掌

御忌別時念仏会も日程を変更して、六時礼讀と法式研修を加えての実施を計画しています。会員各自の研修はもとより、会員相互の親睦、連帯感を深めることができればと思つております。

ここに、浅学不徳の身、神奈川教区内諸大徳各位の今後より一層のご指導、ご支援を頂き、会員各位の積極的参加、ご協力を切にお願い申し上げます。

平成8年度

神浄青事業計画

- 4月23日 神浄青定期総会
- 4月23日 第1回理事会
- 6月1日 浄青神奈川第23号 発行
- 6月7日 第2回理事会・新旧役員 歡送迎会
- 6月18～19日 茨城教区(水戸) 第24回関プロ総会・研修会
- 7月4日 開山忌前清掃奉仕
- 7月中旬 第3回理事会
- 7月29～30日 教区夏期僧堂手伝い
- 8月27～28日 北海道教区(函館) 第26回全浄中央研修会
- 9月上旬 第4回理事会
- 9月30日 神浄青水泳大会
- 10月9日 十夜前清掃奉仕
- 10月14日 十夜法要手伝い・街頭伝道
- 10月中旬 第5回理事会
- 10月28～29日 第14回関プロソフトボール大会・懇親会
- 11月中旬 第14回神浄青ソフトボール大会・懇親会
- 12月中旬 第6回理事会
- 12月中旬 神浄青忘年会
- 1月24日 御忌別時念仏会
- 2月上旬 第7回理事会
- 2月中旬 他宗団見学
- 2月下旬 第22回全浄青代表者研修会
- 3月中旬 写真会・ソフトバレーボール大会
- 3月下旬 第8回理事会

第11期 神淨青役員名簿

会長	大誓寺	塩澤	智彦
副会長	不断寺	杉浦	定徳
〃	易往寺	一	眞光
事務局長	西立寺	山澤	敦浩
事務局	大念寺	小山	英紹
會計	大光院	宮林	雄彦
〃	正覚寺	石川	覚順
書記	鶴林寺	曾我	高順
編集長	宗忠寺	夏見	裕貴
編集委員	大安寺	水谷	知靖
〃	専念寺	大谷	正元
〃	光安寺	長谷川	昌史
〃	知足寺	相馬	正覚
監事	常福寺	國松	俊康
〃	西徳寺	玉木	弁生
京浜組	専念寺	佐々木	敬易
港北組	三寶寺	樋口	芳宏
港南組	大蓮寺	大橋	定敏
高座組	浄泉寺	井村	眞則
鎌倉組	願行寺	井上	俊道
三浦組	清源院	永原	道雄
中郡組	常光寺	野口	浩晶
小田原組	浄土寺	渋谷	聡明
理事	西念寺	富田	浩雅
常理	専福寺	成田	善俊
常理	天養院	吉水	祥史
常理	無量寺	進藤	法雄
常理	海宝寺	池田	敬道
常理	宗源寺	三荒	弘道
常理	癸心寺	田辺	裕誠
理事	道場院	都築	顕道

平成八年度

総会報告

平成八年度の神淨青総会が四月二十三日、大本山光明寺を会場に出席者二十五名、委任状五十六名、合計八十一名の多数により成立された。開会の辞、國松会長の挨拶のあと、議長に佐々木師を選任して議事に移り、平成七年度事業報告、決算報告及び新役員が承認され、塩澤新会長は前会長の足跡を踏まえて邁進することを誓い、続いて平成八年度事業計画及び会計予算が承認され、最後に昨年度の加行成満者を代表して、清水道善師が新会長より淨青袈裟を贈呈され、盛大な拍手が送られた。

伝宗伝戒成満者

(知恩院道場)

京浜組 相応寺 植村万里尼

中郡組 大宝寺 佐々木元洋

(増上寺道場)

港南組 宝心寺 丸地裕信

〃 阿弥陀寺 齊藤誠匡

高座組 正福寺 上田法隆

三浦組 新善光寺 清水道善

〃 大昌寺 坂田智光尼

〃 眞光院 須田応紀

鎌倉組 西念寺 富田知敬

中郡組 善徳寺 三荒雅道

平成七年度

事業報告

4月24日	光明寺	神淨青定期総会
5月10日	光明寺	第1回理事会
6月1日	浄青神奈川発行第22号	
6月12〜13日	埼玉教区東松山	関東プロ総会及び研修会
7月4日	光明寺開山忌前清掃奉仕	
〃	光明寺	第2回理事会
7月29〜30日	光明寺	教区夏期僧堂手伝い
7月29〜30日	長崎教区	全淨中央研修会
9月1日	光明寺	第3回理事会
9月12日	鎌倉組	不入斗球場 県淨青ソフトボール大会
10月9日	光明寺	十夜前清掃奉仕
10月9日	光明寺	第4回理事会
10月14日	十夜法要手伝い・街頭伝道	
10月15〜16日	神奈川教区担当	関プロソフトボール大会
11月29〜30日	大本山光明寺	第20回全淨代表者研修会
12月21日	横浜西口加登家	第5回理事会・神淨青忘年会
1月25日	光明寺	御忌別時念仏会
2月14日	光明寺	第6回理事会
2月21〜22日	第21回全淨代表者研修会	
2月26日〜3月2日	タイ・カンボ	ジア神淨青海外研修(他宗派見学)
3月14日	光明寺	第7回理事会

全淨青代研報告

平成七年十一月二十九、三十の両日にわたり、第二十回全国淨土宗青年会代表者研修会が大本山光明寺及びホテル岩本楼別館に於て開催されました。初日は「お念佛の感動を人々に伝えて」というテーマから、大本山光明寺に伝わる十夜法要が厳修されました。当初、二月に予定されていましたが、先の阪神淡路大震災の影響で延期されてきました。その間、全淨青理事長神田眞晃上人らが再度光明寺にみえられ、宮澤善弘執事長が全淨青の依頼を快諾し、本山上げでの全面的協力のもとに開催される運びとなりました。式衆には、光明寺引声会のメンバーに御出座を頂き、入退堂時には神奈川教区雅楽会による雅楽演奏も行なわれました。まさに本番の十夜法要に勝るとも劣らぬ立派な法要に、全国から参集した百名近くの会員諸師より数々の賛辞を頂きました。二日目は、会場をホテル岩本楼別館に移し、勤行・写経の後、全淨青救援センターの活動内容について、阪神淡路大震災における現地ボランティア活動報告を通じて、その重要性和問題点について研修が行なわれました。

任期を終えて

國松俊康前会長



去る四月二十三日に開催された定期総会においてめでたく神浄青会長を任期満了となつて以来、遅い春の到来と共に、すっかり楽隠居を謳歌しております。しかし、その平穩も束の間、一本の電話によつて敢え無く終わりをつけたのでした。

「浄青神奈川」の原稿をお願いします「今年は今もう来ないだろうと高をくくっていたのが甘かった。ここ数年、この時期に世間がゴールデンウィークだ何だのと浮かれています。私が憂鬱な日々を送っているのは、この「原稿をお願いします」に起因していることは、全く疑いの余地がありません。特に今年は、一旦籠が緩んでしまっただけにカッタールサも一人です。

まあ、今年は編集長も変わったことだし、「浄青神奈川」に原稿を書くのも本当にこれが最後だろうと、いろいろ理由をつけてカラ元気を出すのですがなかなか果たせず、締め切りも疾く過ぎて、何度目かの決心の末に、今漸くワープロを叩いているのです。カシヤカシヤ。

と言うことで、前置きが長くなりましたが、二年間にわたり会員諸師及び

関係各位には、甚大なるご支援・ご協力を賜り誠に有り難うございました。また至らぬ会長故に一方ならず苦勞をお掛けした執行部スタッフの皆さんも本当にお疲れ様でした。改めまして感謝申し上げます。

もう何度とも言っている事で心苦しいのですが、この二年間は、関プロ研修会、関プロソフト、代研、阪神大震災ボランティア、海外研修等々と大きな事業が重なり本当に目まぐるしい限りでした。お陰で私も何度か「早く会長を止めたい症候群」に陥りそうになりましたが、会員諸師の物心両面にわたる献身的な協力によりまして、その都度難局を乗り越え、任期を全うする事が出来ました。しかし、正直に申し上げると、参加者が少なく大変心細い思いをした事が少なからずあったのも事実です。

今、任期を終えて改めて痛感するのは、本当に単純で至極当然の事ですが、浄青活動はあなたの参加なくしては何も始まらないし、何の発展もし得ないし、何の結果も生み出さないとやることです。第一参加しなくちゃ批判だつて出来ないでしょう。

とにかく浄青活動は「初めに参加あまります。その健闘をお祈りすると共に、一人でも多くの参加をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

関プロソフトを終えて

女子大生に聞く

平成七年十一月十六日、横浜市保土ヶ谷公園少年野球場において関東ブロックソフトボール大会を行いました。結果は東京の優勝。その反省を込めて、当日、審判をお願いした鎌倉女子大のソフトボール部員に質問してみました。

Q..我々に対する最初の印象は？

A..お寺の方というところ、少し怖い印象がありました。試合で皆様に会って、その印象は変わりました。「かっこ良かった！」という部員の声も……。



Q..今後、関プロソフトボール大会で我々が優勝する為には？

A..今まで通り、楽しく試合をすればきっと優勝間違いなし。がんばって下さい。

Q..神浄青のチームに試合を申し込まれたらどうしますか？

A..現在、鎌倉女子大学ソフトボール部としては、活動時間の問題などで活動は停止しておりますが、試合をしていただけるのなら、人数を集めて練習いたしますので、ぜひひよろしくお願いします。

Q..最後にいち黒バット、に紫バット、さん白バット、ないよりましな赤バット。あなたはどのバットを使用したいですか？

A..もちろん、ないよりましな赤バット。
ご協力ありがとうございました

組だより

京 浜 組

京浜浄青は、平成六年度より五重相伝の実施を、最終目標に研修会を行っております。まず、はじめに平成八年三月九日に、大光院に於いて帰敬会が執り行われました。六十五名の受者一人一人がとても満足され、法然上人のみ教えに感激されて居りました。その声を聞くにつけ在家の方々も五重相伝を望んでいるのだという事を確信し、来るべき五重相伝の開催に向かつての決意が新たに沸いてまいりました。

今年度からは、宮林新会長の下、全会員がそれぞれの担当に就き全員で会を動かして行くべく体制も新たになりました。親睦担当として、加藤上人が抜擢され、全員参加での活動を親睦の面からサポートしてくれるのではと、期待がかかります。事業としては、自行・化他の特に自行に重点をおき、法式・布教・教学それぞれについて研修を重ねて行き、来るべき五重相伝の開催に向けての準備をして行くこととなります。また、今年度より、研修前に三十分間のお別時が修されることとなりました。今後とも、人の御教えを実践していく活動を心掛けてまいります。

港 北 組

港北浄青は、五月四日に定期総会を開催し、事業報告、会計報告後、役員改選が行われた。

会長に宗忠寺・夏見裕貴、副会長に泉谷寺・久米真浩、大蓮寺・大橋定敏、事務局に大善寺・石川和弘、会計に浄泉寺・井村真則、宝秀寺・森泰道、書記に専念寺・大谷正元各師が選出された。二期に渡り会長を務められた龍雲寺・平元正法師には当会顧問にお迎えし、ご指導、ご助言をいただきます。

本年の事業計画は、神浄青・関ブ口等研修会の参加は基より例年通り法式講習会を年四回計画、その一回に法儀師上人をお迎えし、組寺上人にお呼びかけをしていく予定（内容等は未定）である。また十数年にわたる港南組青年会との家族親睦会は、港北組の担当で企画しております。また本年は、新入会員に専念寺・大谷正信君が入会されました。近況としては、源東院・吉水清文師が先の四月二十八日にご成婚されました。昨年久米師に第一子、本年夏頃井村師に第一子ご誕生予定です。最後に会員一同より、「おめでとうございます。次は平元さんの結婚ですね。」

港 南 組

◆平成八年度事業計画

法式研修会、布教研修会
歳末助け合い募金

家族親睦会、機関紙発行

当会は昭和五十二年九月に発足し、早十九年の歳月を迎えようとしています。私が、当会の法式研修会に初めて参加したのが昭和五十六年ですから、自身としては十六年目の浄青活動になり、自ずと参加の気構えにも歳月とともに変化があります。

初めは緊張感が一杯で、共通した話題で楽しい会話をした覚えは余りありませんでしたが、近い将来自分がなる僧侶というものへの心の準備には大変貴重な当会への参加でした。青年僧侶として何をすべきか、よく討論されているのを傍らで聞きながら、心の内に僧侶としての心構えが形成され、大学の青年会と宗学に係わる講座だけは一生懸命やった背景には、この組の青年会活動があったからこそと、今振り返る次第です。会長の任を預かり、取り敢えず既成の事業を引き継ぎますが、一番大切な「会員皆が積極的に参加できる雰囲気と活動」という原点到今一度立ち返り、当会の運営に尽力する所存ですので宜しく願います。

高 座 組

高座組青年会は、ここ一、二年会員の数がだんだんと少なくなってきた。い、総勢八名の会員となっていました。会員の中にはほかに仕事をしている者も多いが、忙しい中いつも五、六名の会員が中郡組との親睦会をかねた一泊研修会等に参加してくれる。少人数ながら関ブ口や神浄青の浄青主催の活動にも積極的に参加もしてきた。

組浄青の活動としては、一昨年から始めた会員同士の勉強会を、去年は初代神浄青会長であられる平野仁司上人も交えて、座間の宗仲寺の客殿をお借りし行った。講師の先生を招いての勉強会ではなく、法式を勉強してきた会員の指導による勉強会のため、充分的な研鑽を積むことは出来なかつたかもしれないが、会員一同日頃疑問に思っていることや、我流になつてしまつていること等を改めて確認しつづつた。

今年度の活動としては、今年度から入った二名の新会員と共に総勢十名、恒例となつた中郡組との研修会や組の勉強会等をつけていく予定であり、また組内には二十数名の会員資格を持つた方々がいるので、一人でも多くの人が会員に入つて貰えるよう頑張っていくつもりである。

鎌倉組

鎌倉といえば大本山光明寺の十夜法要ですが、地元鎌倉組の青年会は御膝下であるにもかかわらず勉強する機会がありませんでした。

そこで前会長の新原上人を中心に勉強会を行いましたしようと引声勉強会が始まりました。今年は、その勉強会を継続して少しでも多くの会員が十夜法要に参加し、引声法要を体験習得出来たらと、考えています。

他の組の会員の方でもかまいませんので是非一度参加して下さい。

また、今年度から各青年会で行っているような家族親睦会も開催したいと思っています。日頃ソフトボール大会や研修会・忘年会など会員の親睦は多々ありますが家族揃っての会がありませんでしたので、少しでも私たちの活動を理解して頂き、バックアップをお願い出来れば最高だと思えます。この会だけは、奥様・家族・彼女が主役になれる青年会唯一の催しと考えています。

今年の鎌倉組青年会のテーマは、最近鎌倉組がお酒ばかり飲んでいて活動といえば忘年会・○○○会の打上げと他の青年会の皆様に言われないうように浄青活動に積極的に参加し、「やり遂げてから飲む」です。

三浦組

三浦浄青は八年度の正会員は十七名、賛助・OB会員が十二名である。ここ数年間、賛助会員になる数と新しく浄青会に入る会員の数が同じような人数の為、正会員の数に変動はない。

七年度の活動は、定例総会(三月・十二月)。毎年恒例のバーベキュー大会を七月に行った。雨天の中決行したが、豪華な商品が当たるビンゴゲームで盛り上がり、会員相互の親睦会になった。また十二月に毎年鎌倉浄青と合同で行う托鉢(歳末助けあい)を寒風が吹く中、横須賀の街頭に立った。

その他、海外研修旅行を実施した。寺院に参拝し、中国仏教の奥深さに皆感動した。しかし、たった一人だけ、わがままな人物がいて、どうしてもある品物がほしいと言いつつ、全員がその買い物の為に数時間、足止めさせられて後で皆に大ひんしゅくをかかった。八年度の活動計画は、定例総会の他にバーベキュー大会、托鉢、各種研修会を予定している。

青年会の活動を通して会員相互の交流、親睦を深めるとともに、青年僧侶として自分に何が出来るかを考え、新しい活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

中郡組

中郡組青年会では、グループ研修というものを行なっています。第一回目が六月十八日、第二回目は十一月十九日、第三回目は、四月二十一日と、回を重ねて参りました。これは会員を三つのグループに分け、各グループごとに、テーマをつくり学習してその結果を披露するものです。さて、慶事でありますが、十一月四日に会員の一光照君が結婚されました。披露宴は厚木ロイヤルパークホテルで行なわれ、雅業による入場は印象深いものでした。

十二月二十八日には、副会長宮澤正恭君にご長女が誕生されました。会員の驚見宗信君が加行成満されましたので今後の活動が楽しみとなりました。

現在、中浄青の会員は二十名ですが、大松寺日比野隆道上人は入会以来二十数年をもって残念ながら引退されることとなりました。

当会員の中には、会社員等を兼ねている方も多数おり、時間がとりにくい状況ではありますが、会員相互の理解のもと活動していきたいと思えます。

小田原組

神浄青第十一期執行部諸師には、春風薫る桜花爛漫の中、開催されました定例総会において、ご承認を得、順風満帆の船出をされましたことと存じます。二年間の活躍を期待申し上げます。

さて、小田原組でも定例総会を無事終了し、新役員の許、新たな出発をしました。本年度のスローガンとして宗祖の「選択本願」の志を体して毎月二十五日、組寺院をお借りしての「別時念仏会」を修しています。一人ではなかなか出来ない別時も、会員・OBと共におつとめしますと声も高らかに、熱の込めた別時が出来、日々の雑踏がウソの様で心の垢が僅かですが落ちてゆく気がします。展開によっては「六時礼讃」なども勤めてゆきたいと考えています。

尚、本年は小田原組主催による、「ソフトボール大会」が開催されます。執行部では準備会を設け、教区会員・OBの皆様のご参加をお待ちしております。神奈川教区では、一番「西方」に近い小田原です。楽しい一日になります様、誠意を以てお迎えいたく存じます。誌面を借りて、皆様のご参加をおまちしておりますので、奮って「西方」へお越し下さい。

神奈川浄青海外研修視察

タイ・カンボジア・アンコールワット遺跡

18名参加

平成8年2月26日～3月2日

去る二月二十六日、神浄青主催の海外研修会に参加致し、大変有意義な五泊六日の旅となりました。何と申しまでも一番印象深かったのは、今回の研修目的であるアンコールワット遺跡参拝ですので、拙文にて誠に恐縮ですが、これを中心に思い起こしながら、ここにご報告申し上げます。

その壮大な建造物にはただただ息を呑むばかりで、遺跡内の参拝中も感嘆とその威容さに圧倒されておりました。聞くところによりますと、この遺跡は十二世紀後半アンコール朝を再統一したスールヤヴァルマン二世によって三十年程の歳月をかけて造営されたそうです。日本では平安時代末期、法然上人在世中です。クメール文化の華ともいわれるようですが、この時代にこれほど壮大で緻密な建造物を造れるものかと目を疑いました。実際フランス政府・日本政府などの諸国の援助にて修復されており、その景観は素晴らしいものですが、長く続いた内戦の傷痕は大きかったようです。特に内戦中修理を施されなかった他の寺院などはひどい荒廃ぶりでした。それも人的な破壊ではなく、自然の植物によるものであると知り人間と自然の調和と対立を肌で感じま

した。東洋は森の文化と言われますが、自然の中で調和して生きる事には暗黙の内にその驚異が隠れていたのです。純粹な仏教寺院であるバイヨン寺院は四方に仏の尊顔を刻んだ四面仏塔様式の、世界に類を見ないものだそうです。その穏やかな顔は観音菩薩だそうで、四面に配してその無限の慈悲を表現しているのだということです。光明遍照ということ。ここはアンコール・トム（大きい町）という周囲十二kmの区域の中にあり、寺院・王宮・祠堂等が残る大規模な宗教都城ですが、バイヨンをかきりに順に寺院を廻っていきますと、一層荒廃していくのです。根が遺跡を巻き込んで大木となっている為に伐採できないのだそうです。その様な寺院の中、大樹がどっかりと腰を据えた寺タ・ブルームを訪れましたが、現地ガイドに聞きましたところ、尼僧院だと言うのです。内部は小部屋に仕切られ如何にも僧院ですが、まさか尼僧院とは。当時盛大な仏教化が華開いていたのでしょうか。

今回の研修旅行は大都市バンコクを日程の前後にはさみ、アンコールには足掛け二日でしたが、添乗員さんに我まを言いつてアンコールの夕日と朝日を拝みました。

さすが日本人は皆お日様が好きで他の観光客も大半が日本人でした。私自身もその同じ太陽の下で今日本の皆はどうしているだろうと思つたのを思い出します。

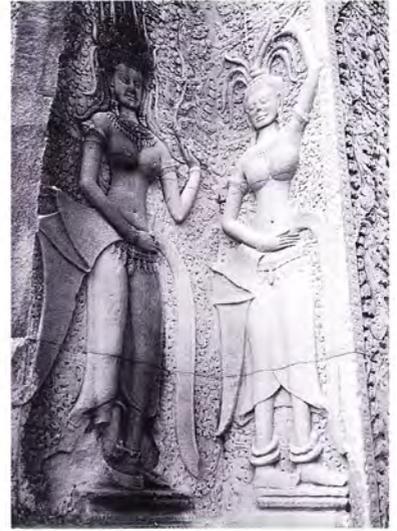
実は先程のスールヤヴァルマンという王名は「太陽の道・虹」という意味で、寺院群は皆東から西へと幅広の参道が通っています。この世から寺院の中心：仏国土へそして西の彼方：彼岸へと道は続くのです。往時のクメールの人々は、死後、人は虹に乗って西の彼岸へと向かうと信じていたそうです。その信仰がアンコールワットを創造したのでしょうか。

まるで観光案内の様な文になってしまいました。カンボジアは決して行きにくい国ではありませんが、かといって第一候補に挙がる所でもないだけに、正直もう少し長く滞在したかったところです。

合掌
会員 石川覚順



▲ アンコール・ワット



▲ アンコール・ワット内
デヴァター (女神)

神淨青

海外研修

タイ・カンボジア

アンコールワット遺跡



▲ アンコール・ワット



▲ タ・プローム
(梵天の古老)



▲ アンコール・トム 四面仏塔
(観音面)



▲ ワット・ヤイ・シャイモンコール



▲ 仏教総本山ウロナム寺院にて
生活中的日本人僧侶 渋井師と

神 浄 青 新 企 画

— 参加しないと そんなにする —

あなたの手帳早く MEMO MEMO

芸能人水泳大会や小谷実可子練習プールとして、チヨ一有名な大磯プリンスホテル室内プールにおいて、神浄青水泳大会を九月三十日に行います。
時間等要項に付きましては、後日ご案内いたします。皆様をアツ！と言わせちゃう企画を盛りだくさん考えておりますので泳げる人も泳げない人もだいじょうぶ・だいじょうぶ!!
皆様のご参加をお待ちしております。



水泳大会

近頃、ハードな毎日が続くと、お嘆きの貴兄に、こんな新企画を用意しました。
『写仏会・ソフトバレーボール』
参加して、身も心もスッキリ・リフレッシュしちゃいませんか？
お問い合わせ
事務局まで

マニア必見



本年度より、例年行っていた別時會を変更してその名も、
『みんな でてこいこい 別時會』
— あなたも、もう念仏マニア —
内容的には、お別時や六時礼讃も組み入れ、あきない、しびれない内容となっております。
ぜひ、この機会に、あなたも、参加して みてみて!!
くわしくは、事務局まで

別時念仏会

これから二年間、皆様に親しまれる紙面を作りあげていく私共の紹介
委員長 夏見 裕貴
委員 水谷 知靖
委員 長谷川昌史
委員 相馬 正覚
委員 大谷 正元
以上五人で、ガンバッテいく所存です。やる時はやります。

編集後記



今回、会員の皆様のご要望によりユニホームとして、ポロシャツを作製いたしました。
一枚三、六〇〇円(税込)で販売致します。
お問い合わせ・お申し込み及びクレームは事務局まで。

ポロシャツ
セール